

State of the ART

乳癌の免疫療法と効果予測

杉江知治

関西医科大学附属病院乳腺外科教授

ポイント

- 乳癌にも免疫原性があり，寛容状態にある免疫を再活性化することによって腫瘍を制御できる可能性がある。
- 乳癌の免疫療法は，免疫原性が高いと考えられる triple negative 乳癌を中心に開発が進められている。
- 免疫チェックポイント阻害薬の単剤療法の効果は限定的であるが，抗がん剤との併用では一定の効果が得られている。
- 乳癌免疫療法の効果を予測するバイオマーカーは確立されていないが，そのなかでPD-L1，腫瘍遺伝子変異総量，TIL などの内在性，外在性因子が注目されている。